お客様のNotePMをのぞき見！

NotePM 導入事例集

カスタマーサポート業務改善編



NotePM by トヨクモ

目次

NotePMのご紹介

こんなお悩みはありませんか？ P3

カスタマーサポート業務を効率化する、オススメ機能 P5

導入事例

PayPay銀行株式会社 顧客サポート P7
カスタマーセンターの長年の課題が解決！検索機能向上で従業員の満足度UP

富士山GXホールディングス株式会社 顧客サポート P9
エスカレーションの工数が3割減！
清涼飲料製造業コールセンターを変える「NotePM」の検索機能

日本PCサービス株式会社 顧客サポート P11
業務マニュアル・電話対応ルールを共有し全スタッフが迷わない導線を設計

株式会社ホタルクス 顧客サポート P13
お問い合わせ電話の保留時間が3分→1分に短縮
ペーパーレス化にも繋がったNotePM活用術

京王電鉄株式会社 顧客サポート P15
ユーザーからのお問い合わせ内容をナレッジ化し
蓄積した情報をサービス改善に活かす

東芝テックソリューションサービス株式会社 顧客サポート P17
12拠点あるサポートセンターのナレッジを一元管理！

もっと詳しく

用途に応じて様々なストック情報を管理する P19
NotePMの活用シーン

会社のマニュアル作成・ナレッジ共有の課題を解決 P21
NotePMで広げる業務改善の3ステップ

NotePMについてもっと詳しく知りたい方へ P23

会社概要

project mode

会社名	株式会社プロジェクト・モード
設立	2012年2月14日
代表取締役社長	小澤卓馬
株主	トヨクモ株式会社（100%）
事業内容	ナレッジ管理SaaS「NotePM」の開発・運営 スマホアプリ、Webサービスの企画・開発

Mission

ミッション

ワクワクするプロダクトを
生み出し続け、
社会を前進させる

Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

こんなお悩みはありませんか？

...NotePMなら全て解決できます！



社員

マニュアルが
整備されておらず、
業務の属人化が進んでいる

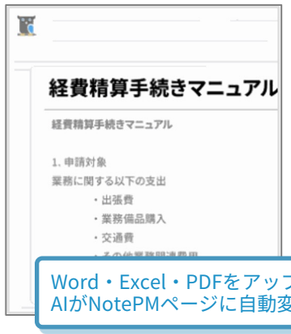
引き継ぎに時間がかかり、
担当者変更のたびに
業務が滞る

AIマニュアル作成とAIファイル取込で、**誰でも簡単に**マニュアル作成！



テーマを入力→選択肢を選ぶだけ
AIが本文まで自動作成





Word・Excel・PDFをアップするだけ
AIがNotePMページに自動変換



社員

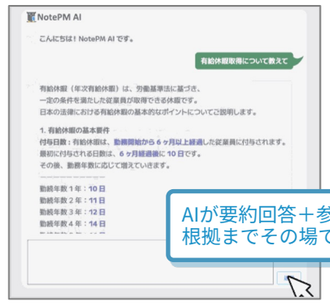
最新情報がどこに
あるかわからず、
探すのに時間がかかる

欲しい情報が
すぐに見つからない

Word・Excel・PowerPoint・PDFなどファイルの中身までキーワードを**全文検索**可能！

AI検索（チャットボット）なら、話しかけるだけで**出典つきで回答**





AIが要約回答＋参照元ページ付き
根拠までその場で確認



総務／情報システム担当者

そもそも情報共有への
モチベーションが低い

タイムラインで社内の**最新情報を把握！**

コメント・いいね機能や、ページを見た人がわかる機能で**情報共有を促進**





Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

カスタマーサポート業務を効率化する、オススメ機能

マニュアル・業務手順書、議事録、
社内FAQ等の管理に最適！

便利な 掲示板

お知らせやGoogleカレンダーを埋め込み、社内の予定を共有できます。



リマインドにも使える お知らせ通知

ユーザーに通知を送り、ページやファイルを共有できます。通知にコメントを付けたり、未読のユーザーだけに通知することも可能です。



便利な 画像・動画添付

画像編集機能で、画像に何か説明を加えることができ、マニュアル作成などに便利です。



トップ営業社員の商談動画や、スマホで撮影した動画マニュアルなどを共有できます。



編集履歴 自動保存

社内規定やマニュアルの変更履歴をいつでも追跡・確認できます。変更箇所はハイライトされるので、誰が何を更新したか分かり、過去の内容に戻すこともできます。



ニーズに応じて自由に設定できる 柔軟なアクセス権限

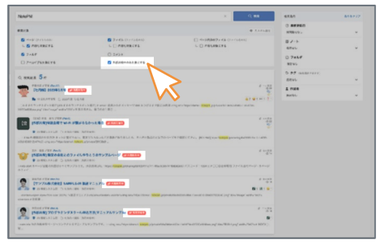
役員会議事録や人事評価情報等、機密性の高い文書を守り、部署ごとに必要な情報のみを公開することができます。



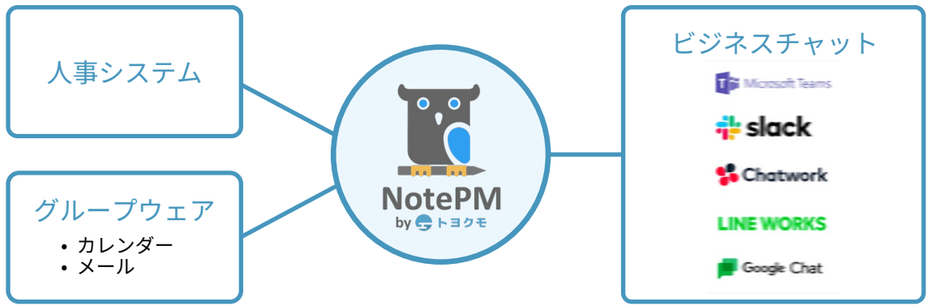
メンバー以外にもリンクで 外部共有

専用URLを発行し、NotePMへ招待していない人にも特定のページを共有できます。顧問弁護士への契約書確認や社労士への資料共有等に使えます。外部共有すると「外部共有中ラベル」がつきます。外部共有中のファイルを絞り込み検索することもできます。





外部サービス連携 も可能



万全の セキュリティ対策

通信は全て暗号化

全ての通信はSSLを用いて暗号化しています。

2段階認証

セキュリティコードを入力することでログインアカウントのセキュリティを強化しています。

データバックアップ

全てのデータは常時バックアップ。万が一障害等でデータが消失しても復元できる体制をとっています。

銀行・大学も導入！高水準のセキュリティ

情報セキュリティの国際規格「ISO/IEC 27001」に基づくISMS認証を取得済み。厳格なセキュリティ基準に則り、内部統制の整備・個人情報の保護に取り組んでいます。

IS 803943 / ISO 27001

Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

顧客サポート

カスタマーセンターの長年の課題が解決！
検索機能向上で従業員の満足度UP

PayPay銀行株式会社



- **業種**
銀行業

- **導入部門**
カスタマーセンター（委託先含む）

- NotePMの利用人数
200~250名

課題

検索性の低さによる顧客対応の長時間化

カスタマーセンターにおいて、社内イントラで必要な情報に辿り着くまでに時間がかかっていた。マニュアルがパワーポイント、エクセル、PDFなど異なるファイル形式で作成されており、検索機能が活用できず、顧客からの問い合わせ対応時に電話の保留回数や保留時間が長くなっていた。また複数のツールを立ち上げる必要があり、新人コミュニケーターの負担となっていた。

成果

検索性向上と業務効率化を実現し顧客対応時間を大幅短縮

NotePM導入後、統一された検索機能により必要な情報への迅速なアクセスが可能となり、電話対応時間が短縮された。特に新人コミュニケーターの保留回数・時間が減少し、全体の対応時間が削減された。また、マニュアル作成時の画像挿入作業が従来の1/6に短縮され、スクリーンショットの簡単な貼り付けが可能に。ツールの統一によって管理側のマニュアル改訂漏れ防止も実現。

NotePM導入の決め手

グループ会社での実際の使用実績と直感的な操作性が決め手だった。グループ会社を訪問して使用感を確認し、懸念だった電話サポートがない点も「メール対応が早い」との評価で解消された。

トライアル利用では操作性が最も優れており、導入後も使い方の質問がほとんどない程直感的だった。権限管理やデータ移行の負荷、画面の見やすさなど総合的に判断してNotePMが最適と評価した。

活用方法 1 プライベートノートとオープンノートの使い分け

カスタマーセンターの窓口ごとにプライベートノートを作成し、全窓口共通で使用するものはオープンノートで管理。個人・法人などお客様ごとにページを分け、リンク集のようにして全ての対応情報を一元化。

全ての対応が分かるように、リンク集のようにして情報をまとめている





活用方法 2 タグ機能による章立てカテゴライズ

「口座開設」「本人認証」など対応方法を章立てし、タグ機能で各章の名前を紐づけることで、各ページがどの章に関するものかを明確化。現場からの「章の中から検索したい」という要望に応え、FAQタグなども活用。



活用方法 3 レポート機能とエクスポート機能の活用

利用率測定や権限管理の確認にレポート機能を活用し、バックアップ用にエクスポート機能を利用。情報更新時の自動メール通知機能により、従来手動で行っていた改訂履歴の作成と送付作業を大幅に工数削減。

レポートは利用率を測るために利用していたが、今後は権限の整理を行っていく予定



Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

顧客サポート

エスカレーションの工数が3割減！清涼飲料製造業コールセンターを変える「NotePM」の検索機能

富士山GXホールディングス株式会社



- **業種**
  製造業
- **導入部門**
  カスタマーセンター（委託先含む）
- **NotePMの利用人数**
  100~150名

課題

情報アクセス性の低さが エスカレーション工数を増大

従来の無料情報管理ツールでは、情報の更新が分かりづらく単語検索で必要以上の情報がヒットするため、オペレーターが必要な情報を見つけにくい状況だった。80-90人のオペレーターが在籍するコールセンターでは、1日平均5-10件の情報更新があるにも関わらず、最新情報を把握しづらいシステムのため、10件の電話対応中5件ほどエスカレーションが発生。

成果

検索性改善でエスカレーション工数が3割削減され、業務効率化

NotePMの優れた検索機能と直感的なインターフェースにより、オペレーターが自分で必要な情報を見つけられるようになった。その結果、従来10件中5件発生していたエスカレーションが3割減少し、管理者の工数削減を実現。また「このページを見た人」機能により情報確認状況の把握が可能になり、オペレーターの8-9割がエスカレーション前にノートをチェックする習慣が定着。

NotePM導入の決め手

NotePM導入の決め手は「コスト」と「インターフェース」の2点だった。他社サービスと比較検討した結果、NotePMは利用コストが比較的安価でありながら、検索をはじめとした必要機能が充実していることが評価できた。

また、ユーザーインターフェースが見やすく直感的に操作できるため、お客様対応をしながらでも使えるイメージがつき、新しいツールの社内浸透に適していると判断した。

活用方法 1 役職別ノート構成による情報管理の最適化

ノートを「オペレーター向け」と「主任以上の管理者向け」に分類し、合計7つのノートを作成。オペレーターが業務に集中できるよう情報量を調節し、役職に応じて必要な情報のみを開示する構成で効率的な情報管理を実現。



活用方法 2 業務内容別ノートでの情報分類管理

オペレーター向けノートを「FO関連」「BO関連」「QC関連」「社内周知」の4つに分類。フロントオフィスとバックオフィスの業務特性に応じて公開ノートを調整し、従業員の担当業務に最適化された情報提供を行っている。









活用方法 3 強力な検索機能を活用した情報発見の効率化

添付資料内の文字も検索対象となる高度な検索機能を活用し、資料の一部分からでも必要な情報を素早く発見。

画像添付機能も併用してオペレーターの理解度向上を図り、エスカレーション前の自己解決を促進している。

Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

顧客サポート

業務マニュアル・電話対応ルールを共有し全スタッフが迷わない導線を設計

日本PCサービス株式会社



- **業種**
  IT機器の総合サポート業
- **導入部門**
  カスタマーサービス部
  法人ヘルプデスク課
- NotePMの利用人数
  100~150名

課題

既存の情報共有システムの機能不足と管理体制の問題

既存の情報共有システムは検索機能が脆弱で、重要情報を強調できず視認性に欠けていた。また、マニュアルの改訂作業が即座にできないこと、操作方法を把握していない人はマニュアル更新ができないこと、更新履歴が全く記録に残らないことも問題だった。これらが要因となり、スタッフが迷わずに業務を遂行できる導線が確保できていなかった。

成果

情報統一と自発的なマニュアル管理文化の構築

NotePM導入により、即座にマニュアル変更が可能になり、社員によって認識がまばらだった情報やルールが統一された。さらに予想外の効果として、社員が自発的にマニュアルを作成・更新する環境が生まれ、業務ルール変化への意識が高まった。担当ページを積極的に更新する社員も現れ、「マニュアルを更新しよう」という管理意識が自然と芽生える組織文化の変化が実現。

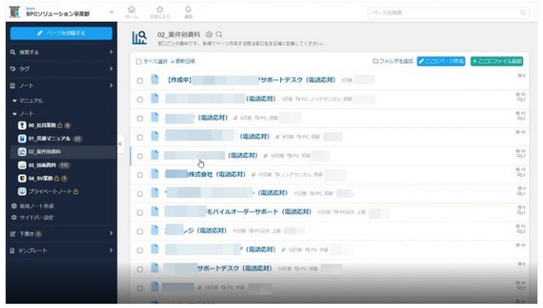
NotePM導入の決め手

NotePM導入の決め手は、競合他社（ヘルプデスクの達人、アルファスコープ、Microsoft OneNoteなど）との比較検討において、「パソコンの知識がなくても操作できる」「直感的にマニュアルを作成できる」という機能面で頭一つ抜けていたことだった。また、日頃から上層部にシステムの課題感を共有していたため、管理職と現場の双方が同じ課題を認識しており、部長や上長がツール導入に前向きで社内承認が円滑に進んだことも大きな要因となった。

活用方法 1 顧客別電話応対ルールに即時参照

法人ヘルプデスク課では、顧客から電話がかかってきた際に着信ポップアップの電話番号をクリックすると、NotePMの案件別資料に自動遷移する仕組みを構築。社員は顧客別の会員確認方法や対応範囲を見ながらリアルタイムで適切な顧客対応を行っている。

電話対応に最適な仕組みを構築



活用方法 2 統一フォーマットによるFAQ管理と効率化

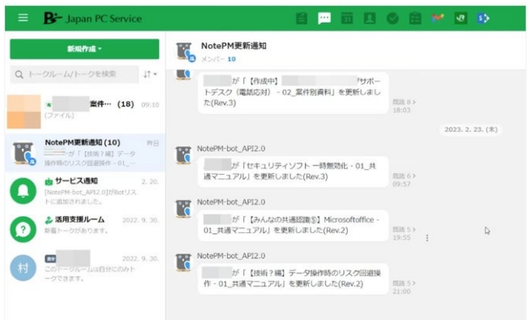
カスタマーサービス部では約800本の回線受付窓口に対する問い合わせ回答を「FAQ」ノートで管理。統一フォーマットのテンプレートを作成することで、誰が作成したマニュアルでもオペレーターが見るべき場所が固定され、保留時間短縮と重要情報の効率的な周知を実現。

属人化を防ぐための仕組みを構築



活用方法 3 チャット連携による更新通知と情報共有

法人ヘルプデスク課では社内で日常的に使用しているLINEWORKSと連携し、NotePMの更新情報をリアルタイムで通知。メール通知と違ってオペレーター全員が更新情報を確認できるため、最新情報の共有漏れを防ぎ、迅速な情報伝達を実現している。



Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

顧客サポート

お問い合わせ電話の保留時間が3分→1分に短縮
ペーパーレス化にも繋がったNotePM活用術

株式会社ホタルクス



- **業種**
メーカー
- **導入部門**
受注センター
経営企画
お客様相談室
修理受付センター
営業支援
営業
- NotePMの利用人数
100~150名

課題

社内問い合わせ対応の非効率性とナレッジ共有の欠如

個人メモによる情報管理が原因で、顧客対応がスキルのある人に依存する体制となっていた。これにより、お客様への保留時間が長くなり、営業部門からの社内問い合わせが1日20件発生し、問い合わせ応答率の目標未達成が頻発していた。また大量の紙資料による管理で情報が埋もれやすく、新商品発売時の対応体制構築も困難だった。

成果

問い合わせ対応時間の大幅短縮と業務効率化を実現

NotePM導入により、顧客からの問い合わせ保留時間が3分から1分に短縮され、営業部門からの社内問い合わせが1日20件から2-3件へと10分の1に削減された。お客様相談室では問い合わせ応答率が10%向上し、1件あたりの対応時間も6-7分から3-4分へと半減。同時にペーパーレス化が進み、膨大な紙資料の管理負担が軽減され、新人教育の効率化も図られた。

NotePM導入の決め手

NotePMの導入決め手は、現場の課題意識から生まれたボトムアップ提案と「虎の巻化」というコンセプトだった。チャットボット検討後、複数のナレッジ管理ツールを比較検討し、NotePMの直感的な操作性と検索のヒット率の高さを評価した。特に、お客様相談室だけでなく営業部門を含めた全社での利用可能性を社長に説明したことが承認獲得の決め手となった。

活用方法 1 社内FAQ・マニュアルの体系的管理

製品ごとにフォルダを作成し、システム使い方や製品改廃情報、配送手数料表などを画像やPDFで分かりやすく整理。電話応対中にストレスなく情報を取り出せるよう工夫し、新人でも迅速に必要情報を検索できる体制を構築。

様々な情報を分かりやすく管理



活用方法 2 顧客対応ナレッジの蓄積と共有

返金対応手順を個人・販売店別にマニュアル化し、アプリ再ダウンロード方法など製品仕様関連情報を掲載。顧客から感謝された成功事例も共有することで、応対品質向上とスタッフのモチベーション向上を同時に実現。



顧客からの情報は常に蓄積して共有



活用方法 3 社内問い合わせ削減のための情報集約

営業部門が頻繁に問い合わせていた情報をNotePMに集約し、スマホで画像や資料を確認できる環境を整備。口頭では伝えきれなかった詳細情報も視覚的に共有でき、新人営業からも高い評価を得ている。

Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

顧客サポート

ユーザーからのお問い合わせ内容をナレッジ化し蓄積した情報をサービス改善に活かす

京王電鉄株式会社



- **業種**
  鉄道事業
- **導入部門**
  デジタル戦略推進部
- NotePMの利用人数
  25~50名

課題

お問い合わせ対応の非効率性とナレッジ蓄積の困難

「京王アプリ」利用客からの問い合わせをエクセルで管理し、ナレッジをテキストファイルでフォルダ保存していたため、過去の類似案件を探すのに時間がかかっていた。ファイル名での検索では適切な検索ワードが入力できないと目的のデータが見つからず、見つけても実際にファイルを開かないと内容が分からないという非効率な状況があった。
また、事務局で対応できない案件の社内各部署への照会フローも煩雑で、業務効率化が急務となっていた。

成果

お問い合わせ対応業務の大幅な効率化と工数削減を実現

NotePMの導入によって過去の問い合わせ内容の検索が容易になり、テンプレートを素早く見つけられるようになった。メンション機能により担当部署への照会も即座に解決し、加盟店への情報共有も外部共有機能で一括対応が可能に。特に年1回の担当者確認作業は、従来数十件の個別メール送信から、1通のメールでNotePMリンクを共有する方式に変更し大幅な工数削減を達成。タグ機能により分類別集計も自動化され、報告書作成の手間も解消された。

NotePM導入の決め手

NotePM導入の決め手は、直感的で使いやすい操作性と優れた検索機能。他のナレッジ共有ツールと比較検討した結果、フォルダ名だけでなく本文やコメントまで検索できる高い検索力が際立っていた。また、タグ・フォルダの階層制限がなく汎用性が高い点、費用面での優位性、フォルダ階層を一覧で確認できる視認性の良さも重要な決定要因となった。実際の利用シーンでのトライアルでも他製品より抜きん出た使い勝手を実感できた。

活用方法 1 お問い合わせ管理とナレッジ蓄積

お客様からの問い合わせをジャンル別フォルダで分類し、回答内容と一緒に管理。
過去の類似案件を検索機能で素早く見つけ、テンプレート化した定型回答を活用することで対応時間を大幅短縮。タグ機能により分類別集計も自動化している。



活用方法 2 案件管理とプロジェクト進捗の一元管理

課題管理、機能改修、企画内容などを案件ごとにページ化し、進捗状況をコメント欄で議事録的に記録。
週次ミーティングでNotePMを見ながら課題を話し合い、完了後は「対応完了」フォルダに移動させて整理している。



活用方法 3 外部共有機能を活用した情報発信

加盟店への情報共有や緊急時のお知らせに外部共有機能を活用。
アプリ不具合時の解消方法をNotePMに記載し、URLをアプリに掲載することで即座に対応。ユーザー向け資料の作成・共有も効率的に実施している。



Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

顧客サポート

12拠点あるサポートセンターのナレッジを一元管理！

東芝テックソリューションサービス株式会社



- **業種**

製品サポートサービス事業

- **事業概要**

提案から設計・保守・運用まで、マルチベンダー対応のワンストップでシステムを支える東芝テックの国内サービス事業

- NotePMの利用人数

900~1,000名

課題

検索機能不足と情報分散によるナレッジ共有の非効率化

従来使用していたオープンソースのWIKIシステムは検索機能が乏しく、バージョンアップやメンテナンスに手間がかかっていた。
さらに、12拠点あるサポートセンターでそれぞれ別のWIKIサーバーを運用していたため、管理する情報に偏りが生じ、効率的な情報共有ができていなかった。

成果

強力な検索機能と一元管理により迅速な顧客対応と情報共有を実現

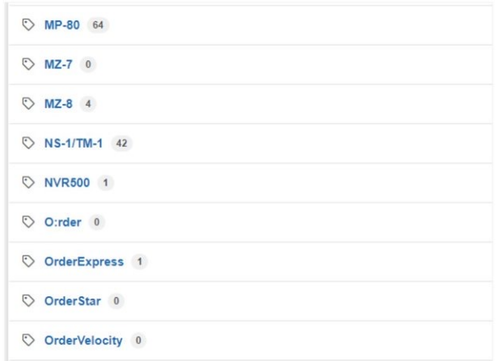
NotePMの導入によってキーワードのハイライト表示やファイル内容の検索が可能になり、顧客からの電話対応時に環境情報や設定情報を素早く検索できるようになった。また、12拠点の情報を一元管理することで情報の偏りが解消され、直感的な操作により社員全員がスムーズに情報を投稿・共有できる環境が整った。

NotePM導入の決め手

NotePM、DocBase、Kibela、QAメーカーを比較検討し、担当者5~6名でトライアルを実施した結果、NotePMが最高評価であった。特に検索したキーワードをハイライト表示し、ファイルの中身も検索対象になる強力な検索機能と、顧客ごとに情報を管理できる階層構造での整理機能が決定的な要因となった。これらの機能により、最重要課題だった検索性の問題が解決できると考えた。

活用方法 1 システム対応手順書の管理とタグ付け検索

製品名のタグを付けた手順書や仕様書を管理し、横串で検索できるよう工夫。あいうえお順にフォルダを作成して情報を整理し、効率的な情報アクセスを実現。





顧客からの受電時、
迅速に設定状況を検索できるように

活用方法 2 コメント機能を活用した社内コミュニケーション

手順書の更新時に「この箇所の修正をお願いします」とコメントでやり取りを行い、社内のコミュニケーションツールとして活用。



コミュニケーションまでNotePMの中で完結できる

Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

用途に応じて様々なストック情報を管理するNotePMの活用シーン

活用の「基本」

社内マニュアルや手順書の作成・管理

業務手順やシステムの使い方といったあらゆるノウハウを集約。教育コストの削減や業務の標準化、属人化解消に直結

社内版Wiki構築

各部署の専門知識やプロジェクトで得られた知見等を誰もが書き込み・閲覧できる状態にすることで、組織全体の知識レベルを底上げできる

社内FAQ・よくある質問集約

繰り返し寄せられる質問と回答をまとめておき、問い合わせ対応の工数を削減。新入社員や異動者が自己解決できる環境へ

議事録共有・タスク管理

NotePMで議事録を作成・共有すれば、不参加メンバーへの情報共有がスムーズになるだけでなく、過去の経緯も容易に検索・確認可能に

業務の質とスピードを「高める」

日報・週報・月報の提出・フィードバック

テンプレート機能を活用すれば、フォーマットが統一されて報告の質が向上。コメント機能でフィードバックも簡単

プロジェクト単位の情報共有

「ノート」「グループ」機能を活用すれば、プロジェクトの目的や進捗報告といった重要な情報を1箇所にストックできる

新人・中途社員の新人教育

各種マニュアルや社内ルール等をまとめた「入社者向けポータル」を作成することで、自律的に情報をキャッチアップできる

社内ポータル・掲示板

社内イベントの告知など、全社員が閲覧すべき情報を集約。必見の情報は掲示板機能で目立たせ、誰もが把握しやすく

特定業務の効率を「向上させる」

提案書・企画書共有・レビュー

営業・企画部門では、提案書や企画書の草案をアップロードしてフィードバックを募る活用も。コメント機能で修正指示や意見交換を行えて、過去の提案書も資産として蓄積

顧客からの問い合わせ・要望管理

カスタマーサポート部門では、対応内容を記録・共有するデータベースとして活用できる。問い合わせへの迅速・的確な対応、製品・サービスの改善につながる情報源にも

研修資料・勉強会内容共有

社内研修の資料や動画をアップロードしておくことで、参加できなかった社員も後から学習できる。「学び続ける組織」への変革を後押し

外部パートナーとの情報共有

限定的な共有が可能な「ゲスト権限」を活用すれば、セキュアな環境で必要な情報だけをやり取りできるため、円滑な協業が実現

Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

会社のマニュアル作成・ナレッジ共有の課題を解決

NotePMで広げる業務改善の3ステップ

1 まずは つくる

部署単位で「小さな成功」

- まずは部署単位で情報共有を開始する
- Wordやpdfのマニュアルをそのまま移行してみる
- NotePMの基本操作の理解、部署内での活用イメージを掴む

導入効果
- 部署内での情報共有の効率化
- 属人化の解消
- マニュアルの質向上

ポイント
- 完璧を目指さない
- 推進役を立てる
- 定性・定量での効果測定

2 もっと 広げる

関連部署を巻き込み「連携の成功」

- 他部署への情報共有をNotePMを通して行ってみる
- 部署間で発生する問い合わせをまとめてマニュアル化する
- 他部署内の情報共有もNotePMで行ってもらう

導入効果
- 他部署との情報共有の効率化
- 引き継ぎ工数の削減
- 共有情報の最新化

ポイント
- 部門長を巻き込む
- 部署間のルール調整
- 検索性の向上を意識

3 もっと もっと広げる

全社展開で「文化としての成功」

- 全社共通の情報をNotePMに蓄積する
- 全社共通のルール策定と周知を行う
- NotePMを全社の公式な「社内Wiki」「社内FAQ」として定着させる

導入効果
- 属人化していたノウハウの蓄積・共有
- 全社的な情報共有文化の醸成
- ナレッジ活用と改善提案の活性化

ポイント
- 情報システム部門との連携強化
- 導入後のフォロー体制
- 「育てる」意識を持つ



Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

NotePMについてもっと詳しく知りたい方へ

早速試してみたい！

30日間無料お試しのお申込はこちら
https://notepm.jp/register

AIを含む全ての機能をお試しいただけます
自動で請求されることはありません
クレジットカードの登録不要

お試し回数は無制限！
「まずは担当者で」「次はチームで」
何度でもお申し込みOK

最大10名でご利用いただけます



データは有料契約後も引き継ぎ可能
※お試し期間中のお申し込みに限ります

1分で登録完了！ 無料お試しの始め方

Step1
フォームに登録



会社名・お名前・メールを
入力するだけ

Step2
メールを確認



届いた案内メールから
次の手続きへ

Step3
チーム情報を入力



チーム情報を登録すれば、
すぐ利用開始

導入検討中のお客様向け

NotePMサービス説明会はこちら
「マニュアル作成」「ナレッジ共有」ツールにご興味のある方へ
https://waaq.jp/p/projectmode/webinar_product_introduction - /

＼ 説明会のポイント ／

- Zoomでオンライン開催
- 顔出し・発言は不要
  視聴のみでOK
- 営業からの連絡なし
  ※ご希望がある場合のみ
- マニュアル作成・検索の
  操作を実演
- NotePMの概要と
  基本操作をご紹介
- よくあるご質問にも
  お答えします

お問い合わせはこちら
機能・運用・プランなど、サービスに関するご相談を承ります。
https://help.notepm.jp/hc/ja/requests/new

＼ お気軽にご相談ください ／

- サービスに関する
  ご質問
- 料金プランや契約
  についてのご相談
- 無料お試しに
  ついてのご相談

料金プランのご案内
用途や規模に合わせたプランをご用意しています。
詳しい料金はWebでご確認いただけます。
https://notepm.jp/price

Copyright © Project Mode, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.